

前期中間考査迫る!

…いよいよ文理別に分かれます

"迫"られてうれしいのは、長期休業や学校祭や(若い頃の)誕生日であって「考査」に迫られて『ワクワクするう!』という人は少数派でしょう。

先日ホームルームで「進路関係資料」を用いて説明されたとおり、将来に向けて今がんばらねばならないのはまさに日常の学習であり、その延長線上に考査があるわけです。

いざ問題を目の前にしたときに、不安のためにガタガタ震えるのではなくて、やる気みなぎって武者震いするぐらい万全の準備で考査に臨みましょう。

中間考査の日程を確認してください。

中間考査時間割

6月		A~C組	D~F組
5	火	①	現代文(60)
		②	倫理(50) 探究化学(50)
		③	いじめアンケート
6	水	①	コミュ英Ⅱ(60) Lisあり
		②	数学ⅡB①(100) 数学Ⅱ(100)
7	木	①	古典(50)
		②	地学基礎(50) 物理基礎(50)
		③	数学ⅡB②(80) 数学B(80)
8	金	①	英語表現Ⅱ(50)
		②	日本史A/地理A(50)
		③	LHR(45)
		④	避難訓練(40)

今後の予定

5/29(火) 中間考査1週間前 3次尿検査

6/5(火)~6/8(金) 前期中間考査
保護者懇談会

6/5(火) いじめアンケート

6/8(金) 避難訓練

6/19(火)・20(水) 球技大会

7/6(金)~8(日) 学校祭

7/9(月)・10(火) 振替休業

7/14(土) 第1回進研模試

学校祭とは何ぞや

…話合いのゆくえは?

生徒会室の前を見ると、学校祭での各クラスのテーマ(出し物)が貼り出されています。いろいろバラエティーに富んでいるをそのテーマを見ていると、こちらの想像力をかき立てられて楽しくなってきます。

しかし、各クラスでどんな話合いがなされてそのテーマに行き着いたかを考えてみると、(確かに時間をかけて決めたのかも知れないけれど)本当に高校生が授業をつぶして、さらに大金をかけてまで発表したいものだったの?と疑問を感じずにいられません。「学校祭がある」→「仮装をやらねばならない」→「じゃあこれでいいや」みたいなことになっているのではないかと不安になってしまいます。

すでに存在するデザインをただ模倣するだけなら、お金さえだせばディスカウントショップでそれっぽいものが簡単に手に入る時代です。発表する諸君が頭を使ってひとひねりもふたひねりもひねりを加えた創作物を作ること、見ている側も「さすが!」を膝を打つことができるのです。

今年は新たに「学級旗」の制作も加わりました。その旗の使い道をしっかり考えてデザインしてみてください。

「殻をやぶる」のは君たちです。



校門横に咲くツツジ